

大阪府岸和田市における小型機船底曳網漁業 (手繰第3種漁業)の漁労作業分析

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2024-08-06
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 高橋, 秀行
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010548

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution 4.0 International License.



大阪府岸和田市における小型機船底曳網漁業（手繰第3種漁業）の漁労作業分析

高橋秀行

漁業の労働環境を快適なものへと改善するためには、実際の漁業労働の状況について定量的な知見を得る必要がある。本報では岸和田漁業協同組合に所属する小型機船底曳網漁船の船上作業を調査した。2台の撮影装置を用いて一航海の船上作業の様子を撮影し、主要な作業の所要時間や身体負担を求めた。身体負担の推定にはOWAS法を用いて、改善を要する作業姿勢の割合を求めた。船上作業のうち最も所要時間の長い作業は漁獲物選別作業であったが、改善を要する作業姿勢の割合は4%と低かった。適切な高さの作業台を用いることで、望ましい姿勢での漁獲物選別作業となっていた。漁獲物取出作業において改善を要する姿勢の割合は52%であり、作業方法の再検討が必要と考えられた。

水産技術, 6 (1), 89-98, 2013